

朝鮮の民間療法

大野 眞 一

朝鮮に行はるる民間療法を見るに醫術の念甚幼稚にして、多くは迷信と結合して荒唐無稽何等其の效なく却りて害毒をなすものあり、然れどもまた一二合理的のものなきにしもあらず、精神的療法といふべきものあり、物理的療法といふべきものあり、藥物的療法といふべきものあり、はた外科的療法ともいふべきものあり、これによりて又鮮人が醫藥疾病に對する感想の一部を知るに足るべし。

榮養不良、衰弱、身體發育不全

- 松樹に寄生する木を煎じて服用す。
- 南瓜の上に止りし青蛙の後足二本を食ふ。
- 六七年を経し洗濯棒の兩端を削り焼いて蜜もて飲む。
- 白鳳仙花を煎じて飲む。
- 屋根に生えし岩蓮華を煎じて飲む。
- 十二三歳の童兒の小便を服用す。

神經衰弱

- 貯へて二三年になる南瓜を煎じ飲む。
- 狗の汁を飲む。

雜 纂

肺結核

- 古き陶器の火鉢を碎き末さし空腹の時酒に交へて飲む。
- 胎盤の血を去り竹刀にて切り油もて煮て食ふ、或は胎盤を丸藥さして用ふ。
- 十年経過せし味噌を乾し末さし空腹の時湯もて飲む。
- 男兒(初産に限る)の胎盤を煎じて日に三回服用す。
- 清水を三器に入れ地中に埋め翌日取り出し壺を燒き其の水に入れ更に地に埋め一週後取り出し毎日服用す。
- 鵝の雛を生食す。
- 鵝を黒燒さして食ふ。

○人肉の粥を食ふ。

### 精神病

○頭上を焼く。

○美人の經水を服す。

○盲人に頼み玉樞經を誦み東方の桃の枝もて病人を打たしむ。

### 眩暈

○牛の頭蓋骨を煮て食ふ。

### 浮腫

○狗糞水を一、二、三回服用す。

○狗の膏を飲む。

○農家が永年使用せし小便溜の桶を煎じ飲む。

### 黄疽

○一年越の苦瓠の中身を粉末とし鼻腔に吹き入る。

○鮓を器に入れ病人これを見詰めて居れば黄疽鮓に移る。

○米泔汁を見詰めて居れば黄疽それに移る。

### 出血

○桔槎を煮て其の水を飲む。

○甘藷末を冷水にて服用す。

○古き海衣を焼き冷水にて飲む。

### 吐血

○鹽一握を呑み上等の墨を削りて飲む。

### 咳嗽

○黍の飴を食ふ。

○泥を固め蚯蚓を入れ焼いて水にて飲む。

### 痰

○火藥末に濁酒を入れ一盃飲む。

### 感冒

○菜を多食す。

○濁酒を入れし粥を食ふ。

○大芸葉を煎じて服用す。

### 薦骨部腰部の疼痛

○嚴冬冷水にて陰莖を摩す。

○腰部に臘胸臍を携帶す。

○青蛙の卵一胞を四五日に食ふ。

○餅を煎じて飲む。

○干潮の時罌丸を文魚の頭にて包む。

### 脚疾患

○盛夏時全身砂浴す。

○蓬にて灸をすゆ。

### 腸窒扶斯

○棉花核を服用す。

○亥年亥月亥日に權取せし荏油を飲む。

## 脚の麻痺

○鼻頭に唾を塗る。

## マラリヤ

○人糞を黒鉛に包み三日間夜露を受け丸薬として服用す。

○三年經じマラリヤには胎盤を用ふ。

○虎の肉を食ふ。

○木桶の花を夜七本取り食前食ふ。

○尸蟲八九疋を食ふ。

○古き人頭骨を焼き末さし水にて服用す。

○白馬の小便を薬酒と欺き飲みしむ。

○他人の頭虱三疋を食物に包み欺き食はしむ。

○病人の父母の一人の踵の垢を食物に交ぜ食せしむ。

○煙草の脂を取り丸薬とし發作の日の朝服用す。

○雞卵三箇の黄味を器に入れ夜露を受け服用す。

○女の陰部を洗ひし水に虱五疋入れて飲みしむ。

○便所の踏板を煎じ飲む。

○殺したる蛇を病人の枕元に置き驚かしむ。

○其の他不意に病人を驚かしむ。

○患者男ならば牝牛、女ならば牝牛と接吻す。

○女穢らば古墓に行きて祝祭す。

○發作の日食前病人の頭上に釜蓋を載せ踏舞し人が笑へば病癒ゆ。

○雞卵を煮てこれを二分し一方に男他の一方に女と書き病人に知らしむ。

すじて食せしむ。

○人家二十五六軒の閉ぢたる門を又外より鎖す。

○井の側の石三箇を顛じ置きて人の知らぬ間に他の路より歸る。

○牛の綱を頭に載せ牛に乗り牛の聲をなす。

○鼠の穴を發作せし日數だけ差ぐ。

○女の underwear を頭に冠り便所に行きて拜す。

○女の陰毛三本をひそかに病人の枕の下に入る。

○蠶に「千草國腰血模糊、手提擲遺楯大夫」と書きて飲む。

○患者を早朝地上に臥せしめ其の形を畫き頭の所を劍にて貫く。

○患者早朝外出し初見の人に我れ昨夜夜病を食へりと云ふ。

## 吃噓

○冷水を三度飲む。

## 身體の一部急に疼痛を覺ゆる時

○蠅を三疋生のまゝ呑む。

## 頭痛

○櫛を黒燒さし眞油と和して飲む。

○大口魚の首を切り一年經たるものを煎じて服す。

○薑汁に鹽を交せて飲む。

○新松枝を顛じ其の汁にて頭を洗ふ。

○古砧を燒いて飲む。

○牛頭骨を顛じて飲む。

- 盛夏の時川原の砂に全身を埋めて蒸す。
- 葛麻子の葉にて頭を洗ふ。

## 眼病

- 桑灰水にて度々洗ふ。
- 石榴花を煎じたる水にて洗ふ。
- 苦草の水にて洗ふ。
- 黄蓮の煎汁にて洗ふ。
- 自己の尿にて洗へば再發せず。
- 黄蓮を人乳に交ぜ點す。
- 人乳を點す。
- 黄手巾を鹽水に濡し目を拭ふ。
- スツホンスツホンを煮て其の汁にて洗ふ。
- 明太魚の油を點す。
- 燕卵を焼き其の粉末を吹入す。
- 唐草の莖にて瞳を突く真似をなす。
- 上衣の前衿を糸にてつなぐ。
- 赤豆十粒を水に浸し毎朝日出時東向し一粒をさり眼につけ水に薬つ。
- 白紙の中央及び四方に目の字を書き中央の分に針を刺し天井に貼る。
- 旭日の昇る時病人を東向せしめ其の鏡を置き板壁に貼り其の目の所に針を刺す。

- 一目三體の翳を書き其の目に針を刺し左の文字を書く。  
爾後吾目疎、吾拔爾目疎
- 瞳に星の出來たる時は家の樺木を病人の年齢だけ數へ雉を立て東向三拜す。

## 雞眼

- 蒜をなめて置く。
- 鯉の膽汁を入れる。

## 眼瞼浮腫

- 睫毛を抜き取る。

## 麥粒腫

- 乳兒の陰莖龜頭にて患部を摩す。
- 上眼瞼に生じたるは足跡に天の字下眼瞼のは地の字を書く。
- 拇指の爪に十字を書く、目左ならば爪は右。
- 赤衫の前衿を結ぶ。

## 耳病

- 蒜を耳にさす。

## 聾

- 猫の尿を耳に注入し鼠の肝臟を食ふ。
- 紙捻に火を點じ外聽道に挿入す。
- 長蒲葉を焼き葱根を交ぜて耳に入る。

## 齲齒

○人糞を焼き其の齒にて嚼み占む。

## 齒痛

○狗腎二つを食ふ。

○古塞の人骨を其の齒にて嚼み占む。

○松枝を油して煎じてふくむ。

○古塞の石に生えたる岩茸を煎じふくむ。

○脂のある松枝を煎じてふくむ。

○蓬の葉を乾し煙管につめ吸口を齒に當てて煙を吹きかく。

## 齒齦炎

○針鼠の毛にてつくく。

## 咽喉炎

○白鳳仙花を煎じて含嗽す。

## 咽喉喉頭の疾病

○蜘蛛を眞油に煮て塗る。

○蚯蚓の汁を飲む。

○犬の頭の煮汁を飲む。

○白蝦の鹽辛の鹽水を咽喉に塗り又白蝦を末さして塗る。

○白蛇の血を乾して清酒に入れて飲む。

○礪砂を撒布す。

○酸漿子を食ふ。

○白蠟を水に浸し含嗽す。

○壺所の砲(水を入る器)の砂を除けば治す。

## 嘔吐、下痢

○濁酒に蠶を交ぜ煎じて飲む。

○釜の底の炭を水に入れさいて飲む。

○松の花粉を米泔汁に入れ煮て飲む。

○薑を煎じて飲む。

○粥に苦草粉を交せて食ふ。

○米泔汁を飲む。

## 赤痢

○葵一兩薑十錢以上煎服す。

○卵三箇を酢に漬一夜二夜露を受け翌朝飲む。

○支那向浮草を煮て飯に交せて食ふ。

○樗の根の白皮を末さして服用す。

○蒜を煎じて多量に飲む。

○二三年經じ古き乾柿を食ふ。

○白茸を煎じ蜜を交せて食ふ。

○鉛に温突入口の灰を合せて服す。

○濁酒に麴を混ぜて食ふ。

○酒の滓を黒焼にして煎じて飲む。

○スタホンのスープを飲む。

○米の糊を食ふ。

## 雜 纂

- 鹽石魚の骨を磨り赤豆粥に入れて食ふ。
- 松木皮を乾し末を蜜に交ぜて食ふ。

## コレラ

- 猫肉を食ひ、猫皮を吊り、猫血を庭に注ぐ。
- 猫の糞を門に貼る。

- コレラの鬼は匏の音を嫌惡するにより門口に匏を吊り音を立てしむ

## 消化不良

- 食鹽水を服用す。
- 雞卵の白味に鹽を交ぜ黒燒さし服用す。

## 熱病

- 石櫛子を碎き煎じて服す。
- 人糞を瓦石に塗りて熱し水に投じ其の水を飲む。
- 人中白を用ふ。

## 便秘

- 鼠の糞を燒きて飲む。

## 腹痛

- 火酒を多飲す、急に起れる腹痛には左腹部を下にして臥す。

## 高菜滯り

- 冷水に高菜一枚を覆ひて吞む。

## 豆腐滯り

- 煙草の灰汁を吞む。

## 冷麵の滯り

- 温酒を飲む。

## 冷水の滯り

- 簾の兩垂の砂を服用す。
- 砂三箇を服用す。
- 泥鰌を生のみ吞む。
- 柏椶を燒き水に入れて飲む。

## 杏の實の滯り

- 杏仁を食ふ。

## 豚肉の滯り

- 乾柿を食ふ。
- 白蠟の汁を飲む。
- 稗を生のみ食ふ。

## 牛肉の滯り

- 梨根を末さし水にて服す。
- 梨汁又は梨皮汁を飲む。
- 梨を煎じて飲む。
- 山楂を煎じて飲む。

## 柿の滯り

- 食鹽を多食す。

乾柿の滯り

○豚肉を食ふ。

濁酒の滯り

○餅を焼き其の灰を水にて服用す。

○苦菜根を煎じて飲む。

火酒の滯り

○西瓜の汁を飲む。

酒疳疾(酒が飲みたくて仕方なきもの)

○白狗の乳を飲む。

○誕生の日に當る前夜曲子(酒の麴を固めしもの)を枕にして寝る。

○井中に生えし草を煎じて服す。

蛔蟲

○暗所にて青角一兩をのむ。

癩

○人肉又は人の陰莖を食ふ。

○人肉を食はずとも常に食はん食はんと思ふのみにても治す。

○大虻魚の自死せるものを食ふ。

○種々の色ある蟲を集め酒を醸して飲む。

○數百年を経じ人の頭蓋骨にて水を飲む。

猩紅熱

○鬼糞を水く服用す。

雜 纂

○麥湯を多量服用す。

○椀園、裏麥豆、鬼糞、栗を合せ煎じて飲む。

○豚の糞を水に溶きて飲む。

麻疹

○鼻になり全身に膿をかけ等にて逆に掃く、其の時憎も肉を食ふかさ

大喝す。

痘瘡

○鶯の巢を病室に吊る。

疔、癰

○白狗を拜す。

疥癬

○雞糞、烟苧灰、水銀を湯に溶き全身に塗り三日目に洗ふ。

○竹葉を焼き眞油を交せて塗る。

○雞糞末を油にまぜて塗る。

各種腫物

○土龍の卵四十箇を三四日分服す。

○患部を屍體にて摩擦す。

○隣に死人ある時は密に侵入して屍體を摩擦す。

○人糞に鹽を交へて貼る。

○熊の油を塗る。

○水蛭に吸はしむ。

○蜘蛛を潰して塗る。

○七箇所の米屋より白米を賣ひて蒸餅に作り人には與へて自ら食ひ其の殘りに腫物の膿汁を付けこれを白紙に包み松の枝に懸く。

### 髮際部腫物

○二十一度灸して焼く。

### 頭部腫物

○九龍木を煎じて塗る。

### 丹毒

○青魚の汁を塗る。

### 破傷風

○吳魚の骨粉をつく。

### 咽喉の腫脹

○蛙の兒を食ふ。

○火藥を醋に交せて塗る。

○杏仁を醋に入れて塗る。

### 乳房炎

○男子陰莖にて摩擦す。

○大根磨汁を塗る。

### 股の腫物

○生栗を嚼んでつく。

### 手足の腫物

○燕の糞を呑む。

### 頸部の淋巴腺炎

○五色蛙を焼き眞油を合せ塗る。

○屍體を手にて摩擦じわが病を持ち去れさいふ。

○桃の木の東方の枝に居る蛇を取り生食す。

○患者十四五歳の女ならば交媾後の液を患部に塗る。

### 小兒陰莖の腫れしとき

○甘草を煎じ局部を洗ふ。

### 頭虱

○梳を黒焼にして水にて飲む。

### 小兒夜泣くとき

○桑蟲又は蟻の胎囊を眞油にて煎じ飲ましむ。

○鴨の舌三枚を眞油にて煮て食はしむ。

### 幼兒痙攣するとき

○兒の頭に篩を被らせ母其上より水を注ぐ、或は放尿す、或は醋を口に含みて吹きかく。

### 小兒多食して腹の脹るとき

○鼠を焼いて食はしむ。

### 幼兒の衰弱

○何處にて何を盛みとかさ大喝す。



### 微毒

- 本人の伯母の頭髮油を盗みて塗る。
- 糠油を塗る。

### 小兒腫物

- 其の父母交媾後の液を塗る。

### 咳嗽

- 雀三羽を煮て其の汁を飲みしむ。
- 梨實の中をくり抜き抜き砂をつめて紙に包み焼きて汁を搾り飲みしむ。
- 大根を右の如くす。
- 飯の上湯を飲む。
- 楮隔油に杏仁、三三葱、三を入れ煎じて飲みしむ。

### 難産

- 門を水にて洗ひ其の水を飲む。
- 門を削り煎じて飲む。
- 馬の皮を敷きて坐す。
- 唐胡麻のからな産室の四方に立つ。
- 兒先づ脚部を出せる時は紗帽を煎じて飲みしむ。
- 杏仁を割り一方に日一方に月と書き合せて東方に向ひて呑む。

### 流産

- 首石を末さして飲みしむれば次にはさまる。
- 海衣を月數だけの枚敷食ふ。

雜 纂

- 東首魚三五尾を煎じて服用す。

- 金銀の指輪を煎じて服用す。

- 洗濯を乾す繩を煎じて煎む。

### 乳汁の不足のとき

- 豚の四趾を食ふ。
- 麩を井中に落す。

### 犬咬傷

- 其の犬の頸の毛を土醫に和して付く、其の犬の主家の味噌を付く。
- 虎の肉を食ふ。
- 其の犬の肝臓を食ふ。
- 其の犬の毛を焼きて付く。
- 黄蓮を剣に付く。

### 虎豹の咬傷

- 雌雞を生けるまゝにて割き患部に付く。

### 百足蟲咬傷

- 生栗を潰して汁を塗る。
- 白柳子の枝を折り其の汁を塗る。

### 蛇咬傷

- 咬みし時直に土を呑む、蓋、蛇人を咬めば先づ土を呑み人に毒の中つこいふなり。
- 烙鐵をあつ。

○亥年亥月亥日に撞取せし往油を飲む。  
魚骨の刺入せしとき

○刺を着て寝る。

○大蒜を二分し一を項部に貼り一を嚙下す。

足裏の刺創

○桃の核を焼き其の烟に中つ。

火傷

○人蔘の莖を末にし眞油に交ぜて塗る。

○柳子を焼き眞油に相して塗る。

○麥の糊をつく。

炭酸瓦斯中毒

○漬物の汁を多量に飲む。

漆かぶれ

○枯柳を焼き患部に烟を中つ。

○月經の時使用する布を水に浸し其の汁を塗る。

○澁を越えて大便をなしそれを患部に塗り澁を越えて歸る。

○早朝草の上に轉び露に濡る。

○幼兒の寒を狐が纏つて屍を食ふと云ひ其の屍の衣を纏ふ。

○醋を塗る。

○雞血を塗る。

○草積の蓆を焼き其の臭を嗅ぐ。

刃物の傷

○壁土を付く。

○女の陰毛を焼き眞油に交ぜて塗る。

毆打創

○籬帯木を煎じて服用す。

脱臼、捻挫、骨折

○松葉を蒸して患部を暖む。

○柳の皮をあてゝ縛る。

○冷水にて冷す。

○蟹を煎じて服す。

石にて傷せしとき

○牛肉又は干柿をつく。

高き木より墜ちて創せしとき

○其の場所の土を掘り炭あらばそれを食ふ。

死人を蘇す法

○父ならば其の子、夫ならば其の妻が無名指を切り血を死人の頭上に

澁ぐ。

麻疾

○楮糊に冷水を入れ浸出して飲む。

○米酢汁を多量に飲み或は其の後石上に放尿す。

○冷酒酒を多量に飲む。

○五六年經し鹿角を飲用す。

○松葉の煎汁を服用す。

○肉汁を鹽を加へずして飲む。

○夜露を濁酒に交ぜて飲む。

○岩花を煎じて飲む。

○牝狗と交るか又は女に吸はしむ。

○石魚の頭骨四十斤を焼き酒に交へて飲む。

○刺桐花を酒に煎じて飲む。

○樟の横木を煎じて飲む。

○菟種、垂竹葉、木通、孔草根、仁同蔓の五を煎服す。

○桔梗を蜜と交ぜて飲む（但し女子）

### 女子陰部搔痒

○白伽子を煮て付く。

### 陰萎

○蜻蜓を多數捕へて陰乾にし末を酒に和し飲む。

○海狗、虎の陰莖を煎じて服用す。

### 微毒

○銀と砒霜二種を混合して服用す。

### 横痃

○三身一日の魚を患部に齧く。

○患部に狗の字を書き周圍に虎の字を書く。

雜 纂

交媾中急に死せるとき。

○唇を相手方が噛みて出血せば蘇生す。

○針もて拳丸の根部を軽く刺す。

### 痔疾（肛門病一切）

○火箸にて刺す。

○加拉木茸を眞油にて蒸しあつき間につく。

○人の骨を火にて焦し其の烟をあつ。

○九節蟲を眞油にて煮て患部に塗る。

○桃木の茸にて灸をすゆ。

### 脱肛

○燈螂を一疋肛門に貼り一疋を服用す。

### 色狂

○雌雄左足三箇の煎汁を飲まじめて汗出づれば治す。

○戀女の陰毛を煎じて飲まじむ。

人中白とは人尿を三年間陶器に貯藏し乾燥して白色の固形物となれる  
をいふ。